

資料7 市民等環境意識調査の結果

(1) 市民意識調査結果

本計画の策定にあたり、市民の環境に対する意識や意見を把握し、今後の環境施策に反映させていくために、市民意識調査を実施しました。調査結果の概要は以下に示すとおりです。

■ 調査概要

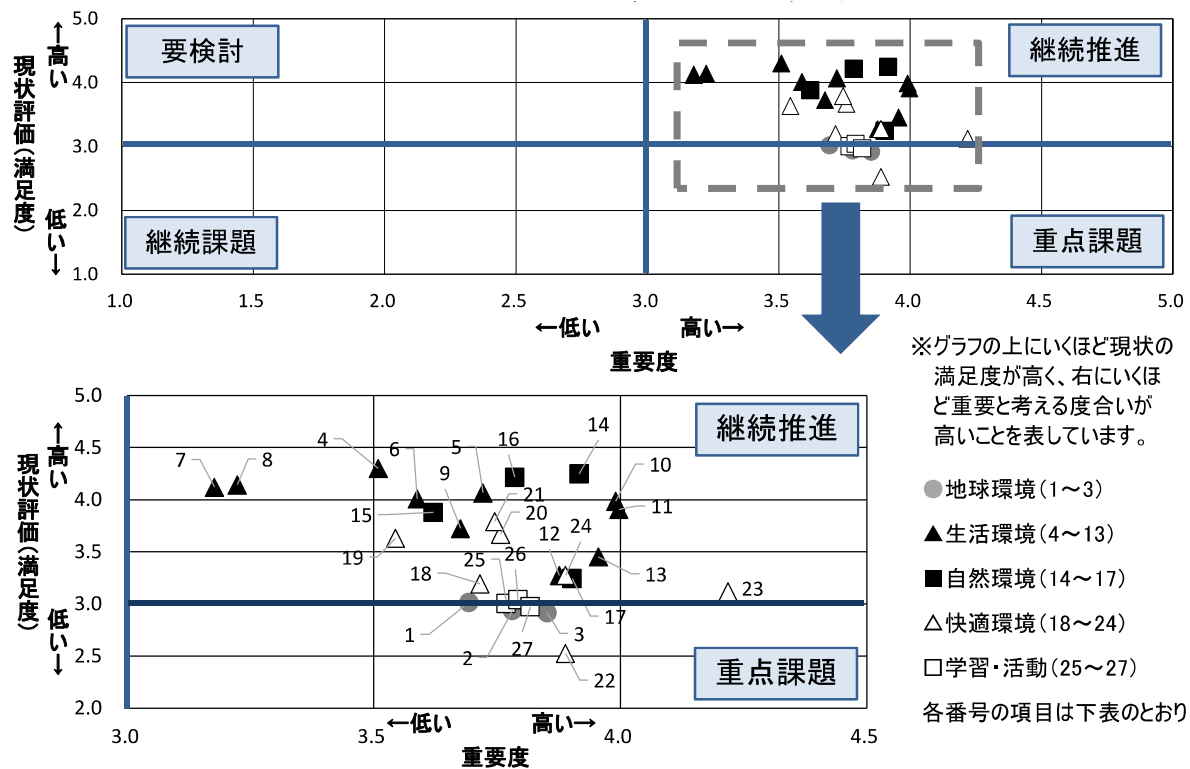
調査対象	市民 1,000 人(無作為抽出)
調査期間	令和3(2021)年6月16日～6月28日
調査方法	郵送による発送・回収、WEBによる回答
回収結果	443 件(44.3%)

✿ 環境の満足度と重要度

環境について「地球環境」、「生活環境」、「自然環境」、「快適環境」、「学習・活動」の現状評価(満足度)と重要度について質問しました。結果の概要は下表に示すとおりです。

■ 分野別環境の満足度と重要度の概要

分 野	概 要
地球環境	・ 地球規模の環境問題については、総じて満足度が低く、重要度が高い傾向にあり、各対策の推進が必要と言えます。
生活環境	・ 「食品ロスの削減の推進」・「不法投棄の取り締まり」は重要度が高い一方で、総じて満足度は低く、対策の推進が必要と言えます。 ・ 「騒音・振動対策」・「悪臭対策」は満足度が高いが、総じて重要度が低い傾向にあります。 ・ 上記4項目以外は満足度、重要度が高くなっており、現状で良好であるという評価を得ています。
自然環境	・ 「野生鳥獣による被害対策の推進」は重要度が高い一方で、総じて満足度は低く、対策の推進が必要と言えます。 ・ 上記1項目以外は満足度、重要度が高くなっており、現状で良好であるという評価を得ています。
快適環境	・ 「環境に優しい交通ネットワークの充実」は重要度が高い一方で、最も満足度は低く、対策の推進が必要と言えます。 ・ 「公園や親水空間など身近な自然環境の整備」・「自然災害(風・水・雪害)に強いまちづくり」・「食育・地産地消の推進」は重要度が高い一方で、総じて満足度は低く、対策の推進が必要と言えます。 ・ 上記4項目以外は満足度、重要度が高くなっており、現状の歴史・文化等で良好であるという評価を得ています。
学習・活動	・ 環境に関する学習・活動、人材育成等については、総じて満足度が低く、重要度が高い傾向にあり、各対策の推進が必要と言えます。



【設問項目】

● 地球環境	1	温室効果ガス排出量削減対策
	2	省エネルギー設備の普及
	3	再生可能エネルギーの普及
▲ 生活環境	4	空気のきれいさ
	5	水のきれいさ(川・湖沼・池・地下水等)
	6	土のきれいさ
	7	住まい周辺の静かさ
	8	住まい周辺の悪臭の少なさ
	9	住まい周辺の清潔さ(ポイ捨て、犬のフン放置がない等)
	10	ごみ・資源物の分別協力度合いの良さ
	11	プラスチックごみの回収・適正処理
	12	食品ロスの少なさ
	13	廃棄物の不法投棄の少なさ
■ 自然環境	14	野山や森林、田等の緑の豊かさ
	15	野鳥や昆虫、魚等の生きものとの触れ合いの多さ
	16	自然景観の眺めの美しさ
	17	野生鳥獣による被害の少なさ
△ 快適環境	18	憩いの場の多さ(公園・広場、水辺とのふれあい)
	19	まちの緑の多さ(街路樹や公園の緑等)
	20	文化財や遺跡等の歴史的遺産の豊富さ
	21	まち並み・散居村景観の眺めの美しさ
	22	交通の便利さ
	23	自然災害(風・水・雪害)への対策
	24	食育・地産地消の普及
□ 学習・活動	25	環境情報量の多さ
	26	環境教育・学習の場、環境活動の場の多さ
	27	地域人材の育成・連携体制の整備

満足度と重要度の散布図

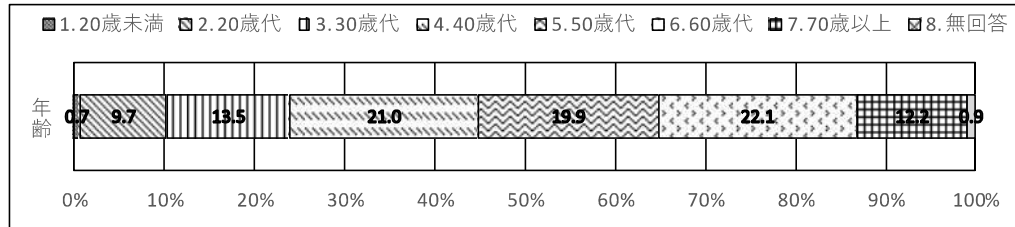
＊ 回答者の属性

※無回答には無効票扱いしたものを含みます。

[問 1] あなたのことについて教えてください。【各問に対し、○を1つ】

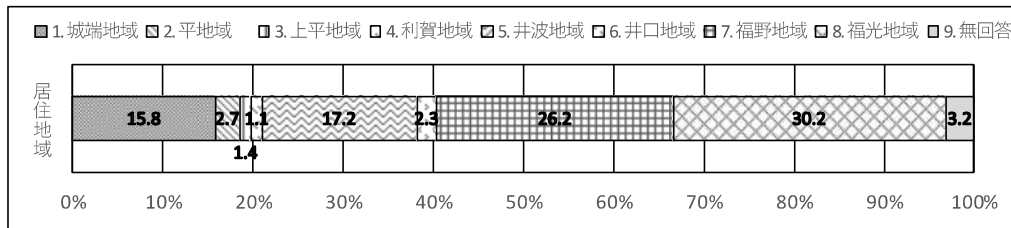
1. 年齢

「4.40歳代」、「5.50歳代」、「6.60歳代」の割合が多くなっています。



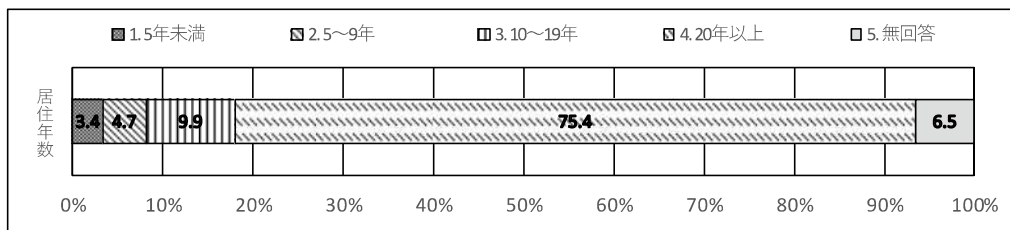
2. 居住地域

市街地がある「8.福光地域」、「7.福野地域」、「5.井波地域」、「1.城端地域」の割合が多くなっています。



3. 南砺市の居住年数

「4.20年以上」の割合が75.4%であり、長年市内に居住の方が大半を占めています。



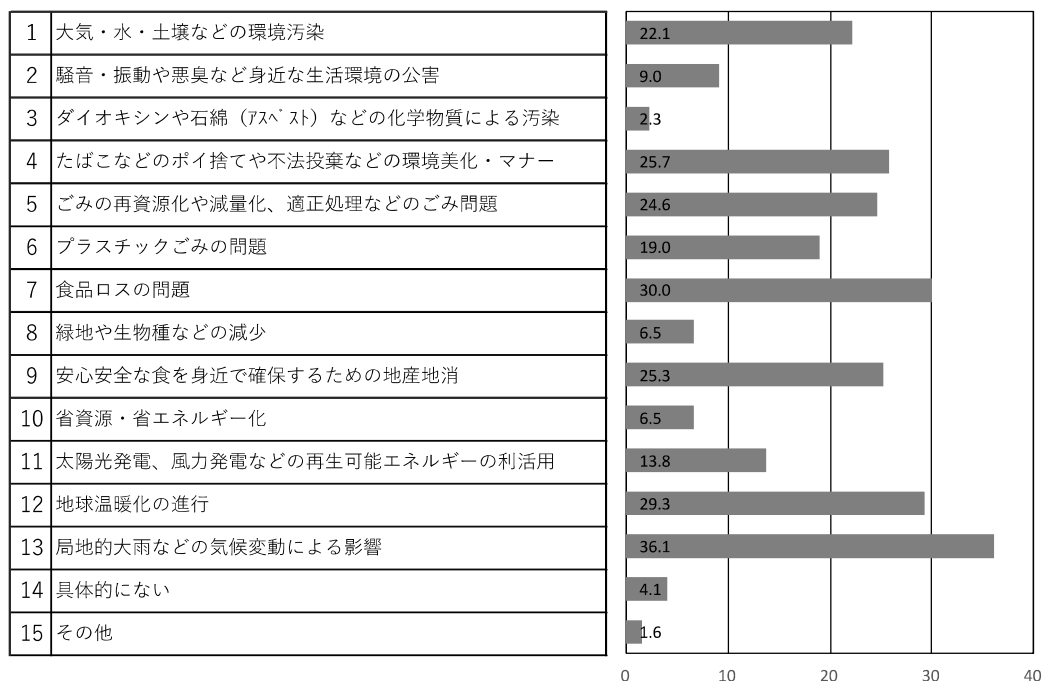
＊調査結果

※無回答には無効票扱いしたものを含みます。

[問 2 - ①]さまざまな環境問題がありますが、関心がある項目はどれですか。【○は3つまで】

上位3位までの項目は、「13.局地的大雨などの気候変動による影響」の36.1%、「7.食品ロスの問題」の30.0%、「12.地球温暖化の進行」の29.3%となっています。

構成比（回答数に占める割合（％））

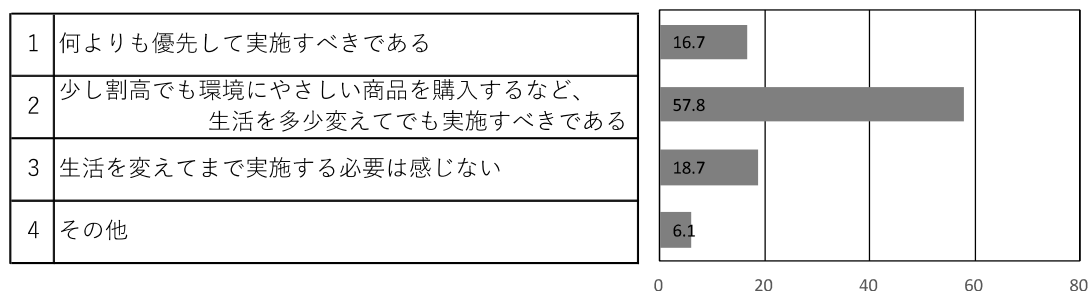


[問 2 - ②]地球温暖化防止のための行動についてあなたの考え方に近いものはどれですか。

【○は1つ】

「2.少し割高でも環境にやさしい商品を購入するなど、生活を多少変えてでも実践すべきである」が57.8%と半数以上を占めています。

構成比（回答数に占める割合（％））



[問 2 - ③] あなたのお住いの地域の環境について、どれくらい満足していますか。
 【各内容に対し、○を1つ】

満足している割合の傾向

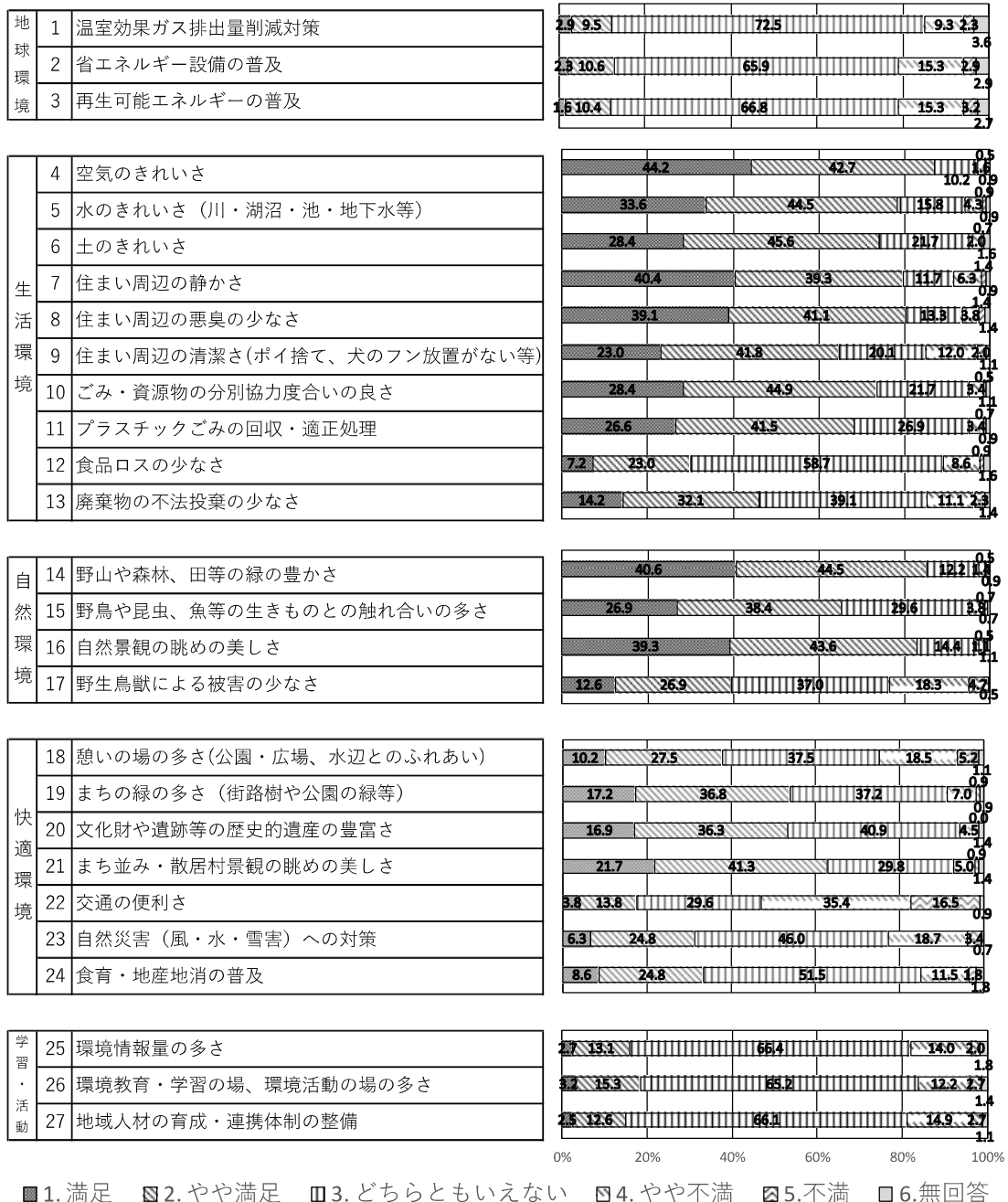
満足している割合（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）が高い上位3位までの項目は、「4.空気のきれいさ」の86.9%、「14.野山や森林、田等の緑の豊かさ」の85.1%、「16.自然景観の眺めの美しさ」の82.9%となっています。

前回調査の結果と比較して、満足している割合に10%以上の変動が見られたものは「13.廃棄物の不法投棄の少なさ」の-25.8%、「10.ごみ・資源物の分別協力度合いの良さ」の-11.3%、「26.環境教育・学習の場、環境活動の場の多さ」の-11.0%となっています。

不満を感じている割合の傾向

不満を感じている割合（「不満」と「やや不満」を合わせた割合）が高い上位3位までの項目は、「22.交通の便利さ」の51.9%、「18.憩いの場の多さ（公園・広場、水辺とのふれあい）」の23.7%、「17.野生鳥獣による被害の少なさ」の23.0%となっています。

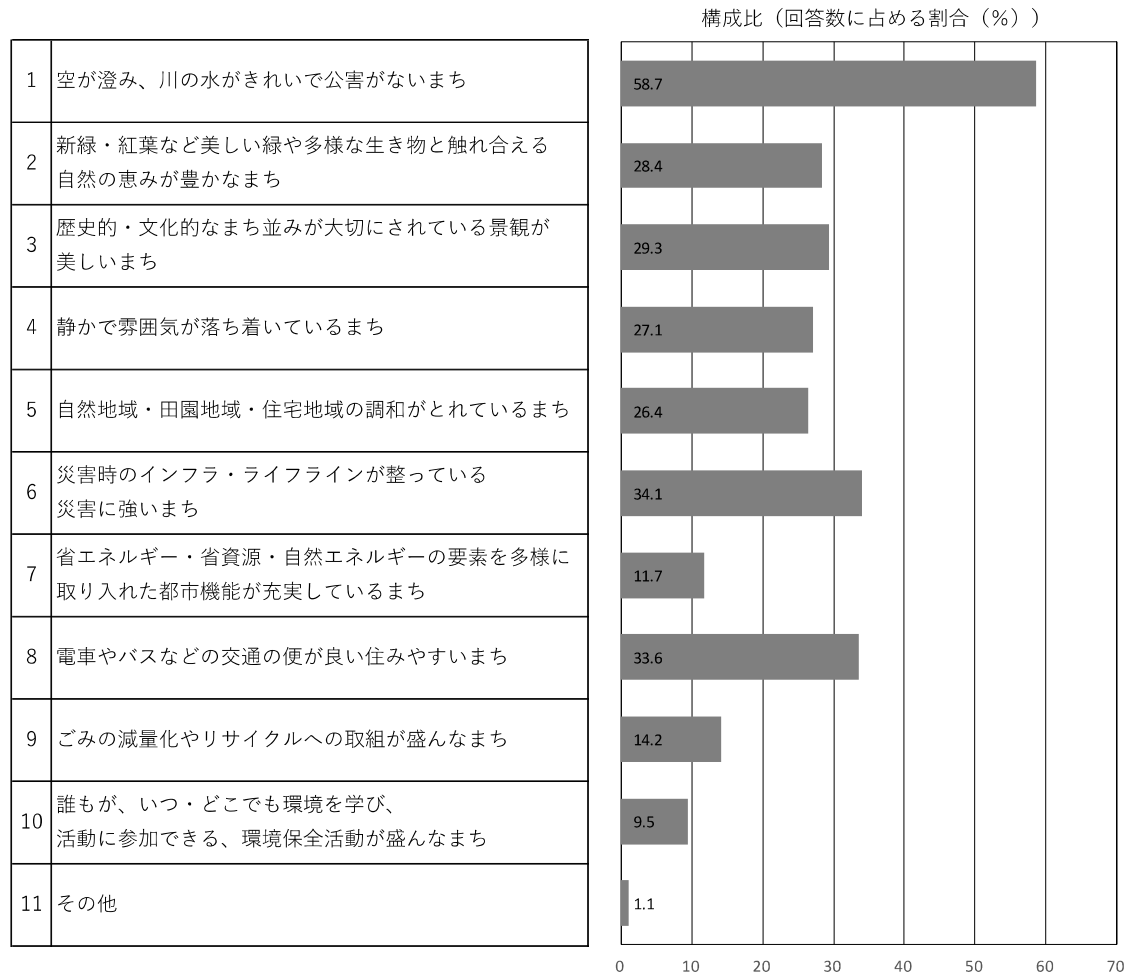
前回調査の結果と比較して、不満を感じている割合に10%以上の変動が見られたものは「22.交通の便利さ」の+13.2%となっています。



【問3】あなたが大切にしたい、残したいと思う南砺市の将来の環境像として近い項目はどれですか。
【○は3つまで】

上位3位までの項目は、「1.空が澄み、川の水がきれいで公害がないまち」の58.7%、「6.災害時のインフラ・ライフラインが整っている災害に強いまち」の34.1%、「8.電車やバスなどの交通の便が良い住みやすいまち」の33.6%となっています。

前回調査の結果と比較して、目立った変動が見られた項目はありません。



【問4 - ①】普段の暮らしで、次の事柄にどの程度取り組まれていますか。【各内容に対し、○を1つ】

実践している割合の傾向

実践している割合（「いつも取り組んでいる」と「ときどき取り組んでいる」を合わせた割合）が高い上位3位までの項目は、「19.マイバッグを持参し、不要なレジ袋は受け取らないようにしている」の96.2%、「13.分別排出ルールを守って、資源物とごみの分別・リサイクルに協力している」の94.8%、「20.車の運転時には、急発進、急ブレーキ、加減速を少なくするように心がけている」の93.7%となっています。

前回調査の結果と比較して、実践している割合に10%以上の変動が見られたものは「1.冷やしすぎ、温めすぎないよう室内の温度は、適切に設定している」の+13.8%となっています。

実践していない割合の傾向

実践していない割合（「取り組んでいない」割合）が高い上位3位までの項目は、「21.できるだけマイカーを使わず、鉄道やバス、自転車を利用している」の82.4%、「8.お風呂の残り湯を掃除や洗濯等に再利用している」の70.0%、「6.使わない電気製品のプラグをコンセントから抜いて、待機時消費電力を少なくしている」の42.2%となっています。

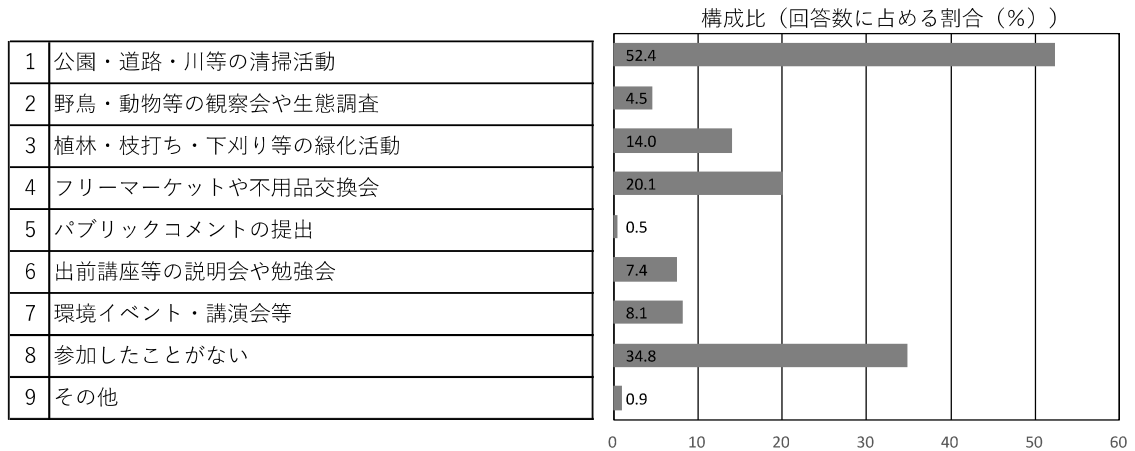
前回調査の結果と比較して、実践していない割合に10%以上の変動が見られたものは「1.冷やしすぎ、温めすぎないよう室内の温度は、適切に設定している」の-14.2%となっています。



■ 1. いつも取り組んでいる ■ 2. ときどき取り組んでいる □ 3. 取り組んでいない □ 4. 分からない □ 5. 無回答

〔問4 - ②〕あなたが参加したことがある環境保全活動や環境学習はどれですか。【○はいくつでも】

上位3位までの項目は、「1.公園・道路・川等の清掃活動」の52.4%、「8.参加したことがない」の34.8%、「4.フリーマーケットや不用品交換会」の20.1%となっています。

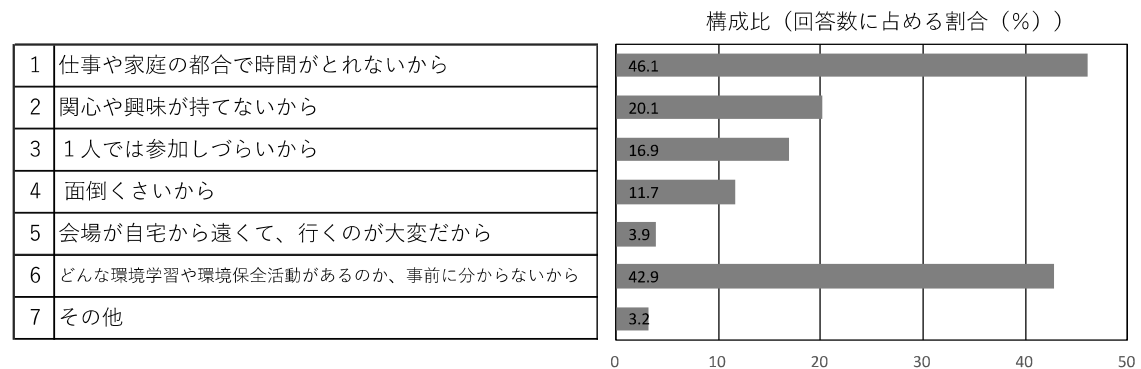


〔問4 - ③〕〔問4 - ②〕で「参加したことがない」と回答した方にお尋ねします。

「参加したことがない」主な理由は何ですか。【○は2つまで】

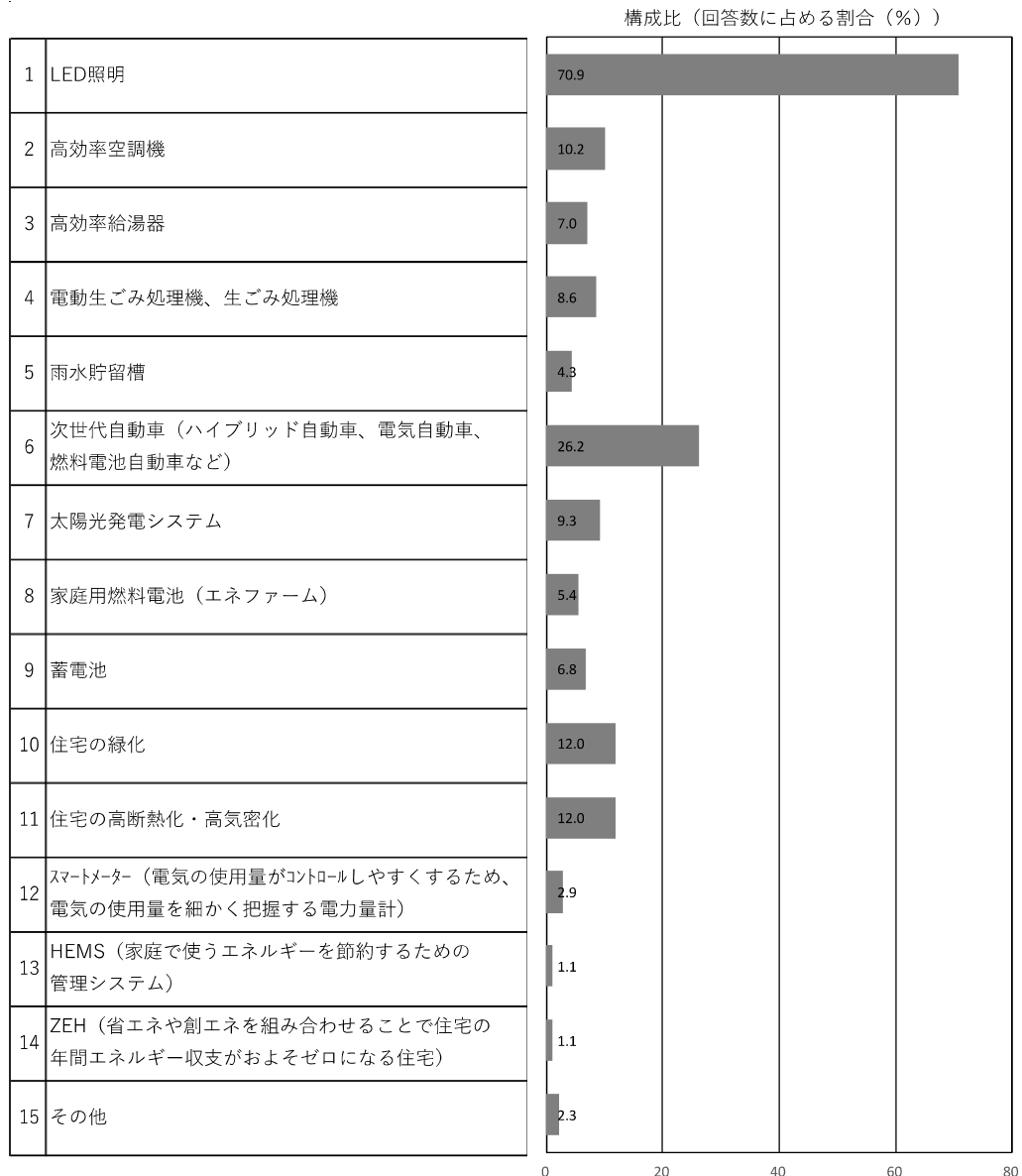
上位3位までの項目は、「1. 仕事や家庭の都合で時間がとれないから」の46.1%、「6. どんな環境学習や環境保全活動があるのか、事前に分からないから」の42.9%、「2. 関心や興味が持てないから」の20.1%となっています。

前回調査の結果と比較して、目立った変動が見られた項目はありません。



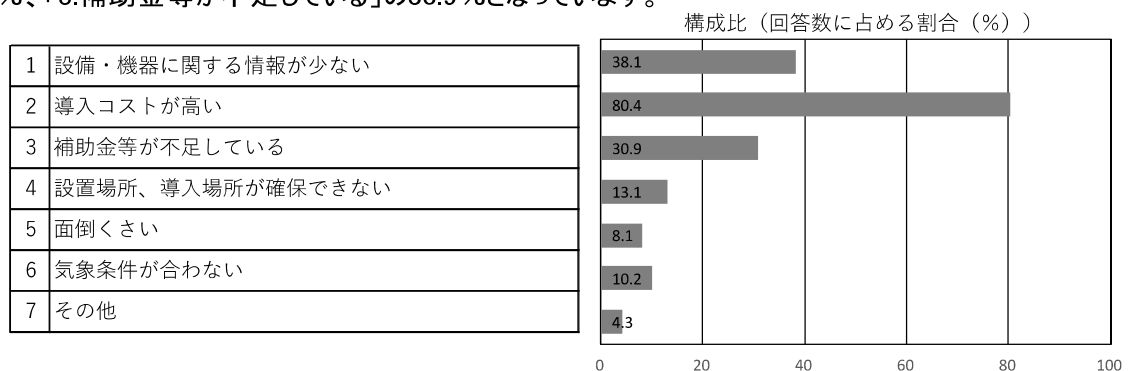
〔問4 - ④〕下記の環境負荷の少ない設備等の中で導入を考えているのはどれですか。【〇はいくつでも】

上位3位までの項目は、「1.LED照明」の70.9%、「6.次世代自動車（ハイブリッド自動車、電気自動車、燃料電池自動車など）」の26.2%、「10.住宅の緑化」「11.住宅の高断熱化・高気密化」の12.0%となっています。



〔問4 - ⑤〕環境負荷の少ない設備等の導入の際の課題はどれですか。【〇はいくつでも】

上位3位までの項目は、「2.導入コストが高い」の80.4%、「1.設備・機器に関する情報が少ない」の38.1%、「3.補助金等が不足している」の30.9%となっています。



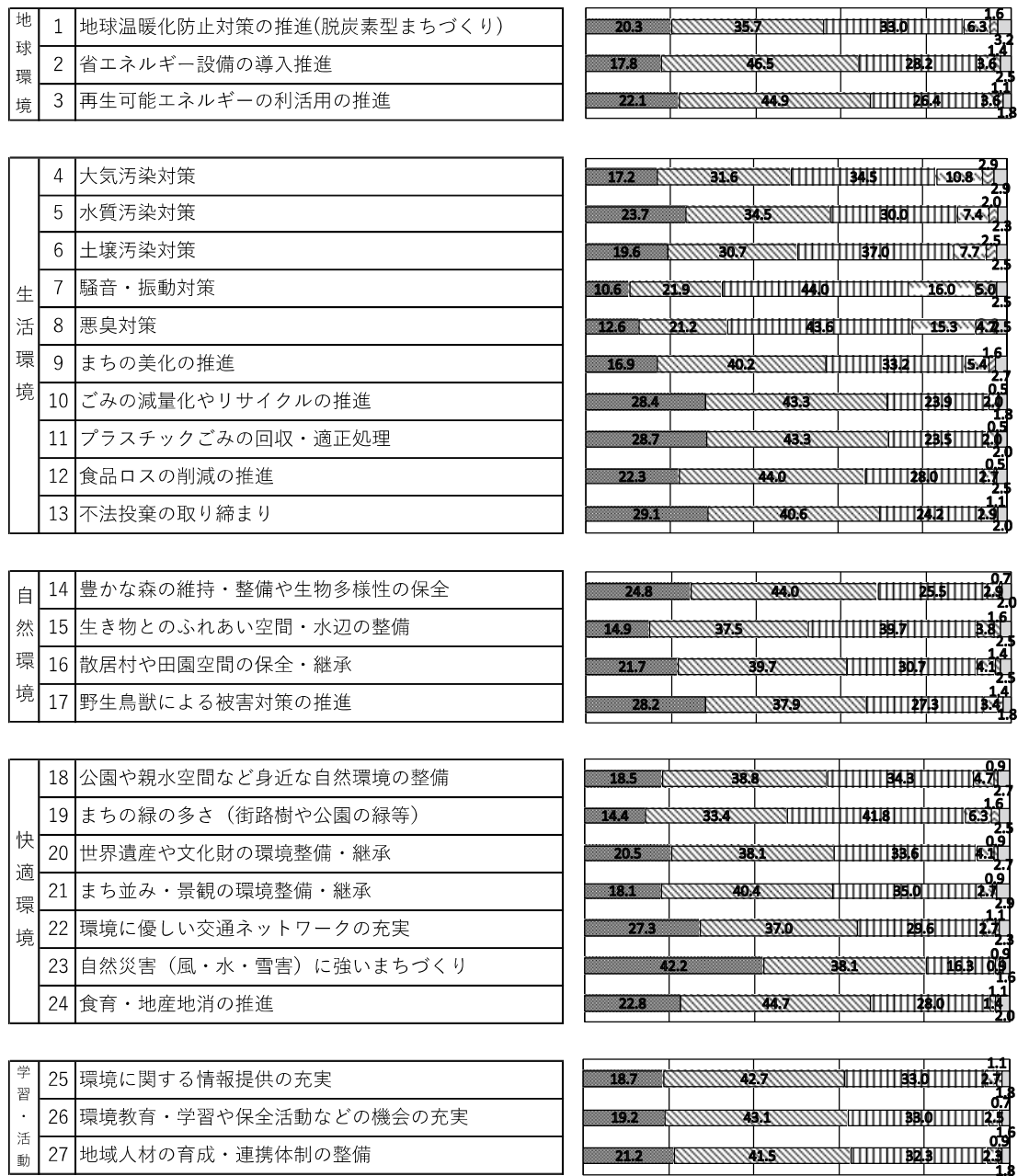
〔問5〕南砺市で今後、どのような環境施策の重要性が高いと思いますか。【各施策に対し、○は1つ】

重要性が高いと感じている割合の傾向

重要性が高いと感じている割合（「重要性が高い」と「重要性はやや高い」を合わせた割合）が高い上位3位までの項目は、「23. 自然災害（風・水・雪害）に強いまちづくり」の80.3%、「11. プラスチックごみの回収・適正処理」の72.0%、「10. ごみの減量化やりサイクルの推進」の71.7%となっています。

重要性が低いと感じている割合の傾向

重要性が低いと感じている割合（「重要性が低い」と「重要性はやや低い」を合わせた割合）が高い上位3位までの項目は、「7. 騒音・振動対策」の21.0%、「8. 悪臭対策」の20.0%、「4. 大気汚染対策」の13.7%となっています。

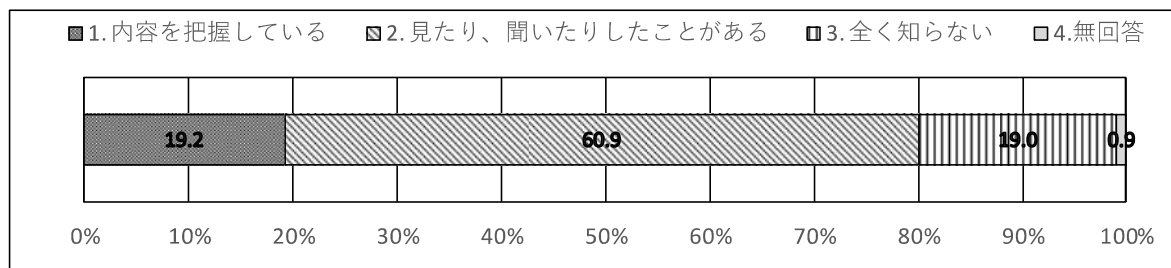


0% 20% 40% 60% 80% 100%

■ 1.重要性は高い ■ 2.重要性はやや高い ■ 3.どちらともいえない ■ 4.重要性はやや低い ■ 5.重要性は低い ■ 6.無回答

〔問6 - ①〕平成27年（2015年）の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」をご存知ですか。【1つだけに○】

「1.内容を把握している」が19.2%とやや少ない傾向にあります。

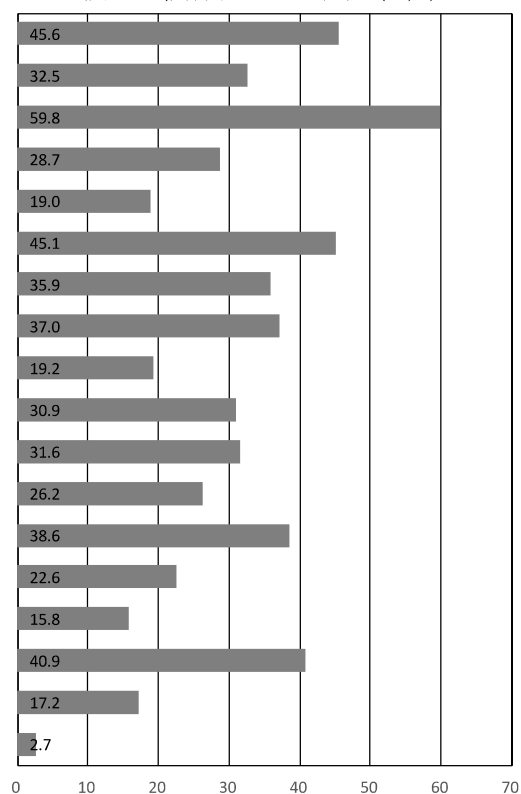


〔問6 - ②〕持続可能な開発目標（SDGs）には下記の17の目標が定められていますが、関心がある項目はどれですか。【○はいくつでも】

上位3位までの項目は、「3.健康であること」の59.8%、「1.貧困をなくすこと」の45.6%、「6.清潔な水と衛生」の45.1%となっています。
半数を超える目標は1つとなっています。

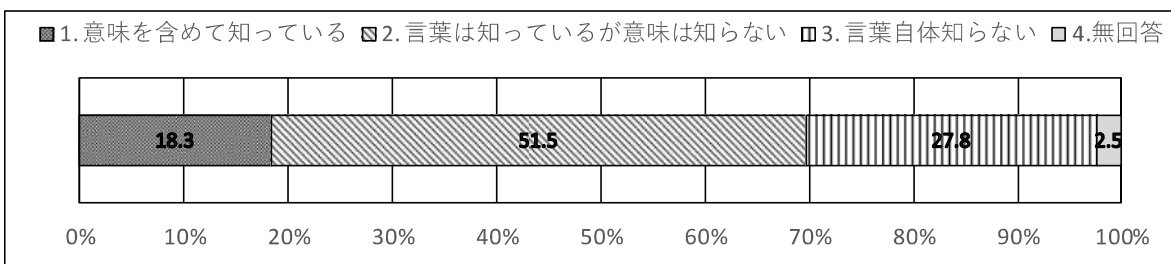
1	貧困をなくすこと
2	飢餓をなくすこと
3	健康であること
4	質の高い教育
5	ジェンダーの平等
6	清潔な水と衛生
7	再生可能エネルギー
8	適切な良い仕事と経済成長
9	新しい技術とインフラ
10	不平等を減らすこと
11	持続可能なまちと地域社会
12	責任をもって生産し、消費すること
13	気候変動への対策
14	海のいのちを守ること
15	陸のいのちを守ること
16	平和と公正な社会
17	目標のために協力すること
18	特になし

構成比（回答数に占める割合（％））



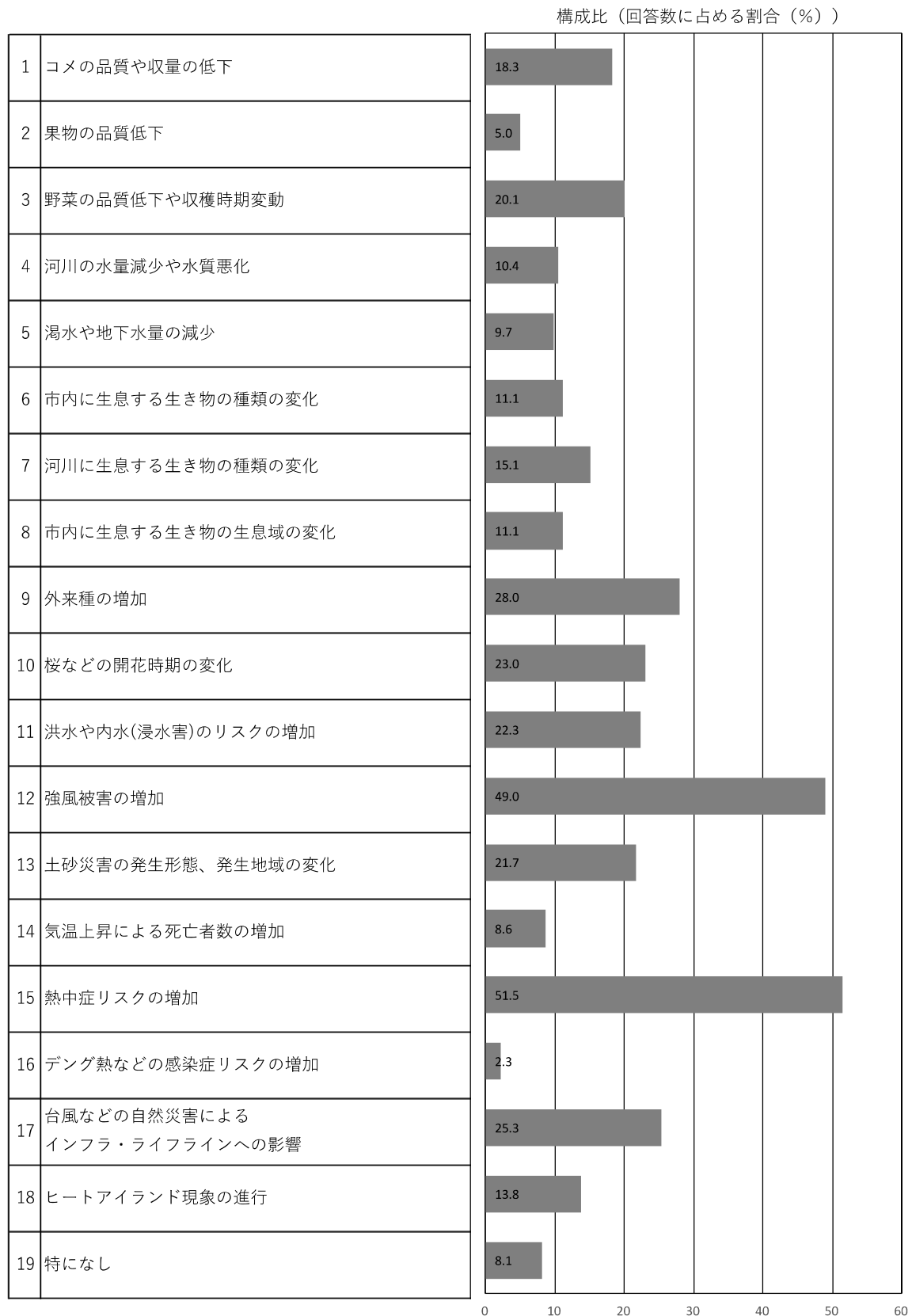
〔問7 - ①〕気候変動の影響への「適応」についてお尋ねします。あなたはこの「適応」という言葉をご存知ですか。【1つだけに○】

「2.言葉は知っているが意味は知らない」が51.5%と半数以上を占めています。



[問 7 - ②] 南砺市において、気候変動の影響がすでに現れていると感じる項目はどれですか。
【〇はいつでも】

上位3位までの項目は、「15. 熱中症リスクの増加」の51.5%、「12. 強風被害の増加」の49.0%、「9. 外来種の増加」の28.0%となっています。

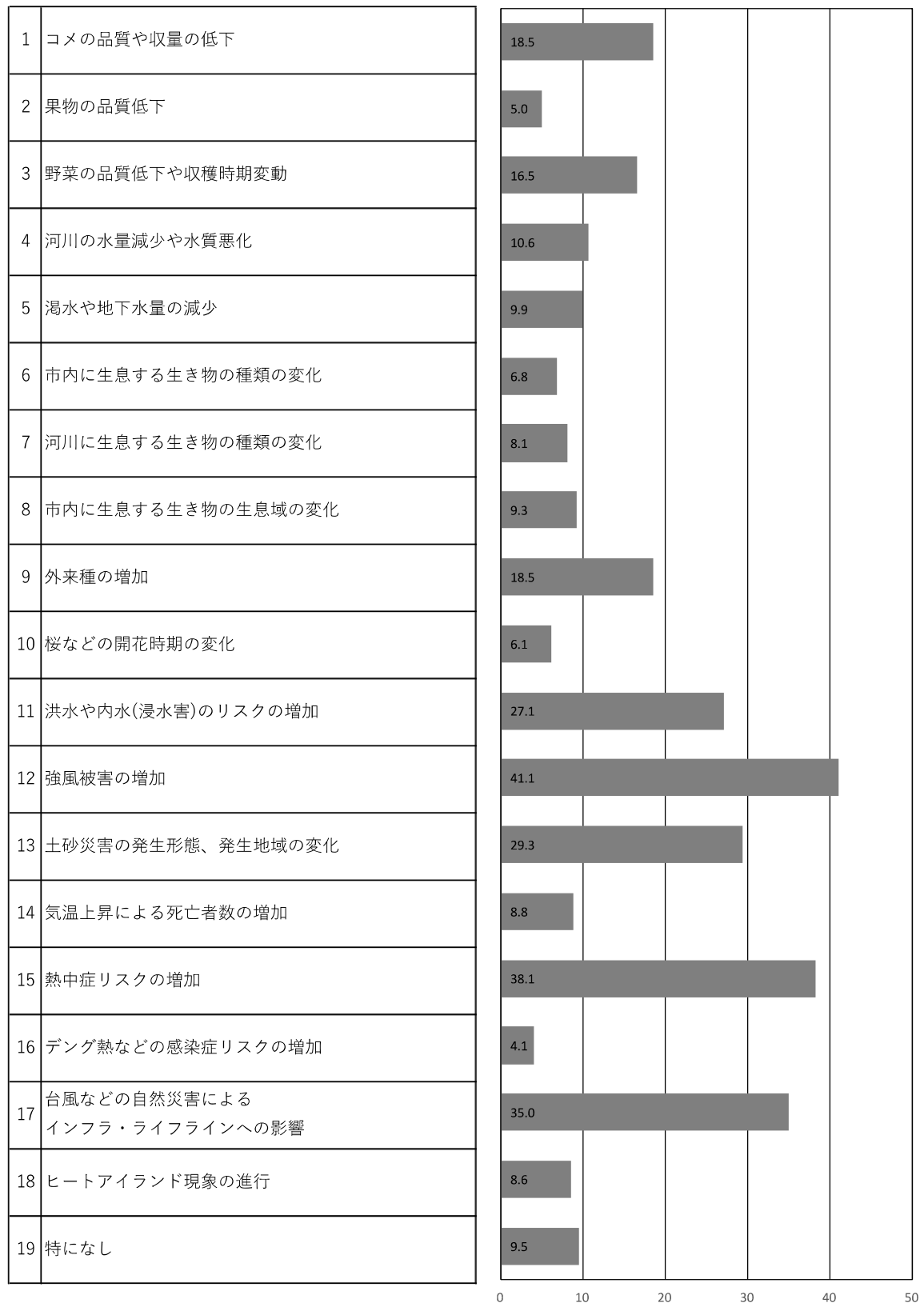


[問 7 - ③] 南砺市において、気候変動の影響が大きく、今後対応策が必要な項目はどれですか。

【〇はいつでも】

上位3位までの項目は、「12. 強風被害の増加」の41.1%、「15. 熱中症リスクの増加」の38.1%、「17. 台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響」の35.0%となっています。

構成比（回答数に占める割合（%））



[問 8] 南砺市の環境情報の入手手段として、最も利用する(したい)方法はどれですか。

【○は2つまで】

上位3位までの項目は、「1. 広報なんと」の61.9%、「4.テレビ、ラジオ、新聞」の26.4%、「3.ホームページ、メールマガジン」の25.1%となっています。
 前回調査の結果と比較して、最も利用する(したい)方法の割合に10%以上の変動が見られたものは「2.パンフレット、チラシ」の-19.9%、「1.広報なんと」の-15.5%となっています。
 今回新たに設けた項目の「7. SNS(Twitter、Facebook等)」が14.5%、「8.動画による配信」が4.5%となっています。

